

山陽学園短大	○小谷	文子
奈良女大家政	丸山	吉子
	堀川	蘭子
	浜口	陽一

1. 一般に魚卵の栄養価は化学価50~62であり、鶏卵の化学価100に比較するとかなり低いものである。これは魚卵中の Try. と含硫アミノ酸の含量が少ないため、その他のアミノ酸はむしろ魚卵のほうに多量に含まれている。従って魚卵に Try. と含硫アミノ酸が適当に補足されれば鶏卵に匹敵する優秀なタンパク源となるものと考えられる。そこで演者らは魚卵に Try. と Met. を補足した飼料で幼若シロネズミを飼育し、その成長から魚卵タンパクへのアミノ酸の補足効果を検討した。

2. 比較的入手しやすいハモ卵を用いて、鶏卵のアミノ酸組成を基準にして Try. と Met. を同時に補足したものや個別に補足したものをタンパク試料とし、飼料中のタンパク含量は10%とした。これらの飼料を幼若シロネズミに与え、10日間飼育してその間の体重ならびに飼料摂取量を計測し、これより正味タンパク率 (NPR) を算出した。

3. ハモ卵へ Try., Met. の両方を補足すると鶏卵よりも高い NPR を示し、Try. のみの補足でも鶏卵にかなり近い NPR を示した。又 Met. のみの補足でも無添加よりかなり高い NPR を示した。更に Try. の補足量を変えた時の補足効果を見ると、添加量に比例して NPR が高くなるのではなく、Try. 1/4 量補足ですでに Try. 全量補足の半分の効果があり、Try. 1/2 量補足では全量補足の 3/4 の効果があった。